



# 図書館 だより

図書館 ☎69・3706

今回は、伊藤光学工業(株)代表取締役社長伊藤寛さんに、読書に関するお話をうかがいました。



—図書館にまつわるエピソードはありますか？—

私は本のページを折り曲げたりするので、図書館から借りずに自分で買うというのが一応基本になります。子どものころは、伝記やグリム童話集をよく読んだね。『トムソーヤの冒険』とか『十五少年漂流記』なんて今でも覚えていますね。

—そのころ読まれて印象に残っている本はありますか？—

芥川龍之介は、親父も好きでしたので、『蜘蛛の糸』とか『羅生門』は、非常に印象に残っている。あとはジャンルを問わずに読んでました。また若いころは恋愛物とか哲学書に近いものを読みましたが、最近はもう時代物・人情物しか読まなくなりましたね。—若い世代にこれだけは読んでほしいオススメの本はありますか？—

やっぱり純文学ですね。難しいですけど、大江健三郎さんとか遠藤周作さんとか。その時は、何の役にも立たないかもしれないですけども、そういう考え方があっていうことを知るだけでもいいんじゃないですかね。



『芥川龍之介短篇集』傑作18篇



最近の愛読書は、『居眠り磐音シリーズ』



前回、アシカがシヨールをサボることを書きましたが、現在活躍しているアイに比べ、先輩のナナはトレーナーに従順で、性格は繊細。アシカに血液型があるのかわかりませんが、人間に例えるとナナは典型的なA型タイプ。それに比べてアイは完全なAB型タイプ。年齢的にサボりたがる年ごろというのがあります、アイはシヨール中は常に目が半分しか開いてなく、明らかに誰が見てもやる気のない

## 「生き物の血液型」

顔をしています。アシカはわかりませんでした。が、ウマの血液型は120種類以上あるらしく、詳しく分けるとなんと3兆種類というとてもない数になるそうです。これを聞いて競馬をやる気はなくなりました。いろいろな動物の血液型を調べてみると、ゴリラはB型しかないようです。動物園で難しそうな顔をしているゴリラを見ると、なんだかなうな気がします。ネコは90%以上がA型だそうです。魚も本当かどうか疑わしいで



学芸員 小林龍二

竹島水族館 ☎68・2059

すが、すべてA型という説があります。はじめは警戒心が強いですが、環境や人に慣れてしまえば池のコイに代表されるように、落ち着いてしまうのでA型かもしれない。しかし、調べてみると血液型と性格の関係はかなりあいまいらしく学術的には否定されているそうです。

## 【新しいスタッフ】

今月から連載の文字数が増えました。これまで650文字の中に水族館や水族生物の魅力を凝縮させるのが大変だったので、文字数が増えたので内容に濃さが出て200文字くらいは脱線話も書けるかな、と安心しきっていたら締切日があつという間に過ぎてしまいました。しかし、これは私の責任ではなく、4月から職員に加わった戸館・岩田コンビが、原稿を書こうと思う日に限って遊びの誘惑をしてくるからです。さて、新しく水族館にやってきた戸館と岩田は、静岡県の東海大学海洋学部出身です。この大学は水族館業界では言わずと知れた名門校で、偉大な水族館関係者がとても多いです。三保に中規模の水族館も持つていて実践的な勉強もできるようです。今後2人の活躍で竹島水族館はより良くなると思います。そう思うと、私が岩手県のリアス式海岸の先端にある北里大学出身ということは、蒲郡市にとつて国家的損失レベルの痛手でありましょう。